

課題名：当院における摂食嚥下障害患者の動向

1. 研究の対象

2017年4月1日～2018年3月31日に回復期リハビリテーション病棟に入院した摂食嚥下障害患者さん

2. 研究目的・方法

当院は大学病院であり、重症な患者さんが回復期リハビリテーション病棟に入院することが多く、摂食嚥下障害も重度の方が多いのが現状です。

また高齢化に伴い、認知機能の低下をもった患者さん、入院前より食事量が異常に少ない患者さんがいて、入院前から十分な栄養量や水分量が摂取できていなかったと想像される患者さんも増えています。

そこで本研究では、急性期治療を当院で行い、回復期リハビリテーション病棟に転科した摂食嚥下障害を有する患者さんがどのような経過を辿られたのか、問題点や栄養方法を後方視的に調査し、大学病院における回復期リハビリテーション病棟患者さんの動向を知ることが目的としています。

研究期間は倫理委員会承認日から2019年3月31日までの間です。

研究成果は論文や学会で発表いたします。研究に関するデータ発表から5年後に廃棄いたします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から以下の内容を調査します。

年齢、性別、原因疾患、言語聴覚士による訓練開始日、訓練日数、在院日数、原因疾患、既往歴、併存疾患、転帰先、意識レベル、嚥下評価、口腔内環境、構音障害、失語症、認知機能の低下の有無、麻痺の程度、意欲発動性の有無、血液データ、栄養手段、食事内容訓練内容 等。

個人が特定されるうる情報は匿名化を行った後に解析するため、個人情報漏れることはありません。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への情報提供はありません。

5. 研究組織

研究責任者

附属病院リハビリテーションセンター 主任言語聴覚士 宮崎彰子

研究分担者

川崎医科大学附属病院	リハビリテーション科	部長	花山 耕三
川崎医科大学附属病院	リハビリテーション科	副部長	平岡 崇
川崎医科大学附属病院	リハビリテーション科	医長	阿部 泰昌
川崎医科大学附属病院	リハビリテーション科	医長	山本 五弥
川崎医科大学附属病院	リハビリテーション科	兼務レジデント	安永 雅
川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	副主任言語聴覚士	川崎 美香
川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	副主任言語聴覚士	兼信 佳代
川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	言語聴覚士	横山 友徳
川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	言語聴覚士	中村 克哉
川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	言語聴覚士	矢野 実郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合、研究責任者の連絡先：

川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター主任言語聴覚士 宮崎 彰子

Tel : 086-462-1111 (内線 : 22820) E-mail : t_akko@med.kawasaki-m.ac.jp

7. 利益相反

本研究は資金を必要としておりません。このことを利益相反委員会に報告し適切に管理されています。